

多古高校

～コミュニティ・
スクール事業～

文科省 & 県教委の表彰 W 受賞！



左から所町長、多古高校学校運営協議会 伊藤弘行会長、多古高校 平山公治校長

令和 2 年度「地域連携協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

この賞は文部科学省が、学校と地域が連携・協働して行う地域学校協働活動のうち、模範と認められる取り組みを顕彰するものです。多古高校の学校運営協議会(コミュニティ・スクールの母体)が主体となり、朝のあいさつ運動や小学校・中学校・地域の各団体との連携活動に積極的に取り組み、魅力アップと地域の活性化を図った点が評価されました。

★ コミュニティ・スクール(CS) 指定当時から取り組んでいるあいさつ運動には力を入れており、生徒が登校する日は毎朝行っています。地域と学校とのつながりが深いため、委員だけでなく、地域の方や町役場の職員、地域に在住している元学校職員や元 CS 委員がボランティアとして率先して活動を支援してくれています。

令和 2 年度魅力ある県立学校づくり大賞 特別賞

「特別賞」は令和 2 年度に新設された部門で、千葉県教育委員会が長年の課題などに取り組むチャレンジ性を評価するものです。多古高校は、コミュニティ・スクールとして他の高校のモデルになっています。

主な事業内容は鯉のぼりの掲揚、防災無線での呼びかけ・演奏、マスクケースの制作、町内小学生と一緒に取り組んだ道の駅歩道アートなどです。

評価箇所はコロナ禍だからこそできる新たな活動を地域の関係機関と連携して行い、地域のために何ができるかを常に考えて生徒の活動や行事を実施しているという部分です。積極的にユニークな取り組みが学校の魅力につながっています。



▲マスクケースの制作

～多古高校 平山校長より～

今回、2つの賞を受賞することができたのは、今まで一所懸命力を尽くしてくださった町民の皆様や本校に勤務された先生方のおかげです。本当にありがとうございました。これまでの継続的な積み重ねが、形となって現れたのだと思っています。

これからも、多古高校の魅力を最大限に引き出し、独自の活動をしていきたいと考えております。また、地域とともに歩む学校づくりをさらに推進させることによって教育力を高め、一層魅力ある高校を目指します。これからも応援をよろしくお願いします。



▲苗販売